

スズキ、「Suzuki Global Ventures」を通じて リンクウィズに出資

スズキ株式会社（以下、「スズキ」）は、コーポレートベンチャーキャピタルファンド「Suzuki Global Ventures」（スズキグローバルベンチャーズ、以下「SGV」）を通じ、リンクウィズ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役：吹野 豪、以下「リンクウィズ」）に出資しました。

リンクウィズは、産業用ロボット向け制御ソフトウェアソリューションの開発・提供を行う浜松発のスタートアップ企業です。3D スキャンとロボット制御技術を活用し、外観検査やばらつきを考慮した加工工程の自動化や、加工・検査結果の記録による品質トレーサビリティの向上など、生産現場のDX化を推進しています。

スズキは、リンクウィズのソリューションを浜松工場、湖西工場に導入し、一部の溶接検査工程ではロボットによる検査へ移行しています。

また、スズキの溶接検査工程以外の生産現場への導入拡大に向け、共同事業開発に関する覚書を締結しました。これにより人口減少が進む日本国内での生産維持や、品質の安定性向上に取り組んでいきます。

スズキは、お客様に必要とされる価値を提供することを目的に、2022年にSGVを設立しました。今回の出資を通じ、スズキの地元である浜松のスタートアップ企業と協創し、浜松発の新たな技術や生産現場のDXモデルの創出を目指します。

リンクウィズ株式会社 代表取締役 吹野 豪のコメント

私たちは、「人の業を受け継ぐロボティクスで働き方を革新する」というミッションのもと、産業用ロボットによる現場イノベーションに取り組んでいます。自動車製造で人手依存が高い工程の改善や、グローバルでの均一品質の実現に向けて当社ソリューションで貢献したいと考えています。スズキ株式会社様との共同開発でも、生産現場とサプライチェーンの品質向上を目指します。

スズキ株式会社 専務役員 市野 一夫のコメント

リンクウィズ株式会社様の保有する点群データ処理技術およびロボットコントロール技術を活用することで、溶接部品の生産性向上と品質の安定化が期待できます。加えて、従来の生産ラインでは対応が難しかった、位置や形状が不確定なワークへの自動化を実現することが可能となります。これにより、シンプルな構成で人とロボットが得意な部分を分担、協創し繋がっていくスズキが目指すスマートファクトリーを実現する一つのツールになると信じています。

●リンクウィズ株式会社の概要

会社名	リンクウィズ株式会社
本社	静岡県浜松市
代表取締役	吹野 豪
設立	2015 年
事業概要	産業用ロボット向け制御ソフトウェアソリューション（品質管理、トレーサビリティ、DX化）の開発・提供
URL	https://linkwiz.co.jp/

以上